



令和7年度普及情報誌  
＼がんばっとるよ！／  
**井笠の農業**

井笠農業普及指導センター



## 1. 持続可能な力強いぶどう産地の育成

### 【ピオーネの着色向上】アブサップ®液剤研修会

J A晴れの国岡山笠岡ぶどう専門委員会では、新たな植物成長調整剤である「アブサップ®液剤」を本年から導入するにあたり、適正使用を啓発するため、生産者19人に対して散布実演研修会を行いました。

普及指導センターと農薬メーカーが講師となり、散布方法の注意点等を説明した後、生産者とメーカーが各々持参した散布機器を用いて散布し、房に必要以上に薬液が付着しないか等を確認しました。「散布に適する機器や散布方法が良く分かった。今日学んだことを早速、試験的に実践してみる」等の意見が聞かれました。



熱心に散布方法について学ぶ生産者



実際に専用噴霧器を体験する生産者

## 【鳥獣害対策】井原式複合柵でサルとイノシシの被害対策

井原地域ではサルとイノシシによるぶどう被害対策として、15 cm×15 cm目合いの安価なワイヤーメッシュに防獣ネットと塩ビパイプを活用して設置し、さらにサルが掴めないようにFRPポールを電柵線で編む技術を組み合わせた地域独自の複合柵に取り組んでいます。

本年は、(株)野生鳥獣対策連携センターと井原市のベテラン鳥獣害担当職員の指導の下、ぶどう新規就農者を対象とした研修会を開催しました。また、井笠農業普及指導センターの普及指導員も現地で設置訓練を行いましたので、本複合柵について興味がある方は当普及指導センター職員に御相談ください。



井原式複合柵の新規就農者向け研修会



当普及指導センター職員の設置訓練

## 【新規就農者確保】産地で募集しています

近年、就農相談件数が減少していることを受けて、JA晴れの国岡山井原アグリセンター、井原市、普及指導センターが連携して、井原市でぶどう栽培を希望する人を対象に令和7年から月1回の就農相談会を開催しています。チラシ、HP等を活用し周知したところ、今年度1月末現在、6人の申込があり、3回開催することができました。

相談者からは「就農するまでの準備のイメージができた」等の良い反応があり、まずは産地を知ることが大事であることを知ってもらい、産地見学会である就農オリエンテーションの参加者も増えました。

井原市で、ぶどう栽培で新規就農をしたいという方がお近くにいらっしゃいましたら、相談会をお勧めください。

井原市  
ぶどう栽培をしませんか

井原市のぶどう産地の一員として  
就農したい方を募集しています。

興味があったら  
まず相談

毎月第2火曜日  
(申込締切:各月前月末)  
井原市役所で  
個別就農相談開催!

就農するための農地は?  
資金は?技術は?  
そんな素朴な疑問を  
相談してみよう。

要予約

①申込フォーム(右QRコード)より申込(24時間申込可)  
☎0866-62-1433#E200k(8:30~17:00)  
②井原市農業指導センター  
☎0866-62-9522#平日のみ(8:30~17:15)  
井原市役所 農林課  
☎0865-69-1652#平日のみ(8:30~17:15)  
井原農業普及指導センター

井原市のぶどう産地  
はこんなところ

井原市のぶどう産地は3地域  
に分かれており、ぶどうで新規  
就農を目指す人をそれぞれの  
地域で募集しています。

① 井原市役所  
② 井原市農業指導センター  
③ 井原市農業普及指導センター

就農希望者は、詳細情報を活用し、  
お問い合わせください。

申込 URL



申込 URL



オリエンテーション風景

## 2. 普及活動の紹介

### 【技術】 水稻高温障害対策を省力的に！ ドローン活用研修会

近年、夏季の高温により、米の品質低下が問題となっています。対策としては追肥が挙げられますが、高温下の作業は負担が大きいため、省力技術の普及が求められています。

先進技術の研修や会員相互の連携を目的として組織された井笠地域稲作経営体ネットでは、省力技術を検討するために、ドローン活用研修会を行いました。研修会では、ドローンを用いて水田内の生育ムラに応じて散布量を加減する「可変施肥」の取組内容を会員間で情報共有し、「今後、高温障害対策や省力化技術はより重要になってくると感じている」などの声が聞かれました。そのほか、普及指導センターが設置している実証ほの経過や農薬メーカーからの情報提供を受け、活発な意見交換が行われました。



肥料散布準備中のドローン



研修会の様子

### 【技術】 たまねぎの鶏ふん活用による施肥コスト低減

井笠地域では養鶏が盛んなため、有機質肥料の鶏ふんが多く製造されています。また、近年の化学肥料の価格高騰により、生産コストが増大しているため、肥料費の低減が求められています。そこで、肥料費低減を目的として、地域資源である鶏ふんを活用した施肥体系について、たまねぎ栽培で実証しました。

化学肥料のみを使用した慣行区と、鶏ふんと化学肥料を併用した実証区で肥料費と単収を比較したところ、実証区では肥料費が約9,000円/10a低減され、単収が約700kg多い結果となりました。今後は鶏ふんを活用した低コスト施肥体系を普及させていきます。

表 収量と肥料費の調査結果

試験区	単収 (t/10a)	肥料費 (円/10a)
実証区：鶏ふん＋化学肥料	6.2	12,548
慣行区：化学肥料のみ	5.5	21,323

※各区とも窒素成分合計25kg/10a程度（基肥＋追肥）



鶏ふんを施用したほ場

## 【技術】キャベツの省力低コスト施肥体系の確立を目指して

管内のキャベツ年内どり（夏まき）作型は、2回追肥体系で基肥と追肥ともに化学肥料が使用されていますが、近年の化学肥料高騰による経費増と追肥作業が生産者の負担となっています。そこで普及指導センターでは、基肥または追肥に鶏ふんとプラスチック不使用の緩効性肥料を活用し、環境に配慮した低コスト・省力施肥体系の実証に取り組んでいます。

その結果、追肥作業を省いた実証区（全量基肥施肥）では、慣行の2回追肥体系より、収量が約0.5 t 向上し、肥料代を10a 当り約10,000 円削減できました。一方で、鶏ふんや緩効性肥料の散布ムラといった課題があり、ほ場内で生育差がありました。来年度も、より良い施肥体系に向けた調査を継続し、提案していきます。

表 収穫調査結果

試験区	平均球重 <sup>z</sup> (g/個)	単収 <sup>y</sup> (t/10a)	肥料費 (円/10a)
実証区	2,025	6.5	37,825
慣行区	1,863	6.0	48,270

<sup>z</sup>：各区30株の平均値

<sup>y</sup>：栽植密度3,214株/10a×区の平均球重



上段：全量基肥施肥体系のキャベツ（実証区）

下段：追肥2回施肥体系のキャベツ（慣行区）

## 【技術】露地小ぎくのセル苗定植前摘心の有効性を探る

露地小ぎくの生産現場では、旧盆出荷作型を中心に、近年の夏期の著しい高温・乾燥条件により開花時期に蕾の生育が抑制され開花遅延が発生しています。

そこで、従来は定植7～10日後に行う摘心を、定植前のセル苗で行い定植することで、従来より早めに摘心後の側枝の生育が開始され、開花を早めることができるかを実証しました。

開花は3日程度前進し、セル苗への定植前摘心が開花を早めることに効果があることが分かりました。今後、開花が遅延しやすいその他の品種でも検討を行い、開花調節技術の一つとして確立したいと考えています。

表 各区の開花時期比較（品種：いつき）

試験区	切り花 開始日	1/2切り花日	切り花 終期
前日摘心区	7月28日	8月2日	8月5日
慣行区	7月30日	8月5日	8月8日



前日摘心区



慣行区



セル苗摘心時の様子

## 【マーケティング活動】 飲食関係者へ明治ごぼうの利用拡大を目指した見学会

明治ごぼう村運営協議会は、令和6年度に見直した産地戦略に基づき飲食店等への明治ごぼうの利用拡大を目指しており、普及指導センターではマーケティング活動に取り組む産地の支援を行っています。

11月に実施した「明治ごぼう産地見学会」では、県内の飲食業関係者から21名の参加があり、収穫体験や近年のマーケティング活動で明らかになってきたごぼうの特性説明を通じて、明治ごぼうの理解を深めました。参加者からは「明治ごぼうの太さを活かした料理を考えたい」等の意見が聞かれ、今後の飲食店での利用拡大に期待ができました。

太さ、やわらかさ、香りの良さが自慢の「明治ごぼう」を飲食店で見かけた際は、ぜひ食べてみてください。



収穫体験を行う参加者



明治ごぼうの特性説明

## 【認定農業者】法人化を検討してみませんか

普及指導センターでは法人化を希望する認定農業者を対象に、研修会の開催や専門家派遣による支援を行っています。

研修会では、法人化のメリット・デメリット、法人の形態、手続きなどを学びますが、今年度は、2法人から設立動機や運営課題の実体験を話してもらい「たいへん参考になった」と好評でした。

法人化は、利益を確保しながら、継続的発展に繋がるように、事業計画、作業計画、収支計画、資金計画を樹立することが大切です。そのためにも、法人化を希望される方は、普及指導センターなどで実施する簿記や労務管理などの研修会へ、ぜひ御参加ください。



専門家から法人化の説明を受ける



法人化について意見交換